

御岳山周辺の上下変動*

国土地理院

国土地理院では、年度計画に基づく全国一等水準路線改測の一環として御岳山周辺の水準測量を実施したのでその結果を報告する。実施時期は1979年5月から12月の間であるが、以下の説明にある隆起部分の測量はいずれも御岳山の噴火以前に終了している。

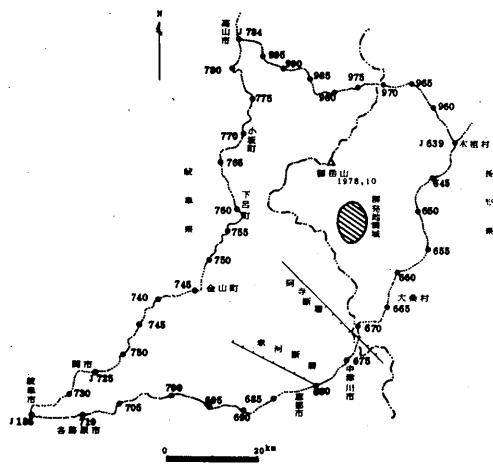
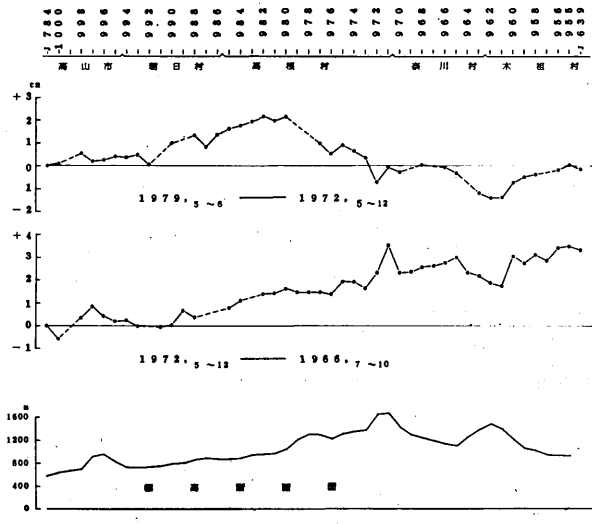
第1図は、高山市から御岳山の北側高根村を経て長野県木祖村に至る路線の上下変動で、上段は今回と前回、下段は前回と前々回との比較結果である。

この図から御岳山のほぼ北側において10数Kmに及ぶ範囲で隆起が見られる。

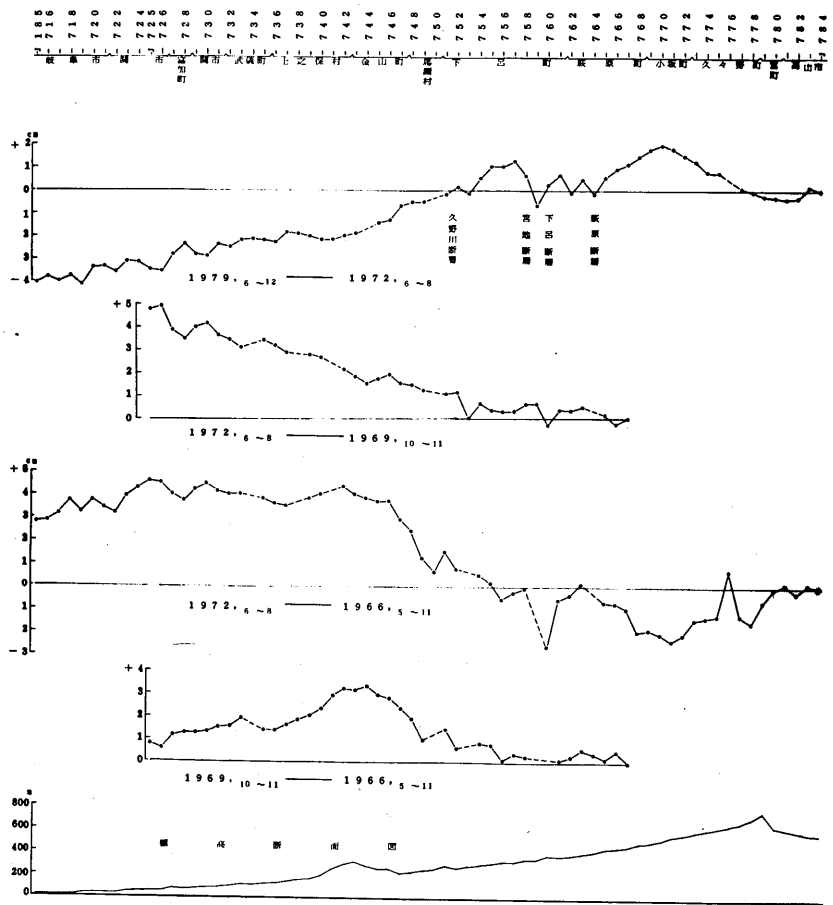
第2図は、岐阜市から恵那市を経て木祖村に至る御岳山南側の路線の変動で、この図から群発地震域に近い南東の大桑村周辺に隆起が見られる。

第3図は、岐阜市から金山町を経て高山市に至る御岳山の西側を通る路線の変動で、2段目と4段目の変動は1969年9月に発生した岐阜県中部地震(M6.6)発生に伴って改測したものを参考に掲載した。この図から小坂町を中心に隆起が見られる。これらの隆起は、いずれも御岳山に近い所で起っている。しかし、この隆起が噴火と直接関係するか否かは水準測量の結果だけで結論づける事はできない。

* Received Mar. 24, 1980



第1図 高山市～高根村～木祖村間の上下変動



第3図 岐阜市～金山町～高山市間の上下変動